



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年7月31日

上場会社名 株式会社 マースエンジニアリング
 コード番号 6419 URL <http://www.mars-eng.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松波 明宏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 佐藤 敏昭

TEL 03-3352-8555

四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	6,089	15.2	1,072	182.6	1,272	140.9	198	38.1
30年3月期第1四半期	5,283	11.3	379	59.6	528	51.8	320	55.0

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 112百万円 (63.6%) 30年3月期第1四半期 307百万円 (58.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	11.87	
30年3月期第1四半期	19.17	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	61,028	51,781	84.8	3,100.70
30年3月期	60,644	52,254	86.2	3,128.99

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 51,781百万円 30年3月期 52,254百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		35.00		35.00	70.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		35.00		35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,300	8.3	1,930	46.8	2,130	44.9	1,380	46.6	82.63
通期	26,300	12.3	4,700	33.6	5,100	32.9	3,350	28.4	200.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	22,720,000 株	30年3月期	22,720,000 株
期末自己株式数	31年3月期1Q	6,019,964 株	30年3月期	6,019,964 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	16,700,036 株	30年3月期1Q	16,700,167 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の向上や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、米国の保護主義的な政策による貿易摩擦の拡大等、景気の下振れリスクが高まりつつあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは「お客様お役立ち精神」を掲げ、全てのお客様の満足を勝ちとるために、開発型企業グループとして独創的な発想で製品や仕組みを世の中に生み出し、社会に貢献できる企業を目指して活動しております。開発から製造、販売、アフターサービスに至る一貫体制で、製造原価の低減や多様化する顧客ニーズに適した製品を開発・販売するとともに、充実したアフターサービス体制で付加価値の向上に努め、アミューズメント事業を基盤事業に自動認識システム関連事業、ホテル関連事業を展開いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高60億89百万円（前年同四半期比15.2%増）、営業利益10億72百万円（同182.6%増）、経常利益12億72百万円（同140.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億98百万円（同38.1%減）となりました。なお、特別損失として役員退職慰労金9億73百万円を計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

セグメントの実績は次のとおりであります。

[アミューズメント関連事業]

アミューズメント関連事業の主な販売先であるパチンコ業界は、「特定複合観光施設区域の整備に関する法律（IR推進法）」や「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律施行規則及び遊技機の認定及び型式の検定等に関する規則の一部を改正する規則」の施行を背景に、ギャンブル等依存症への対策強化や射幸性の抑制に向けた取り組みが一層強く求められ、過渡期を迎えております。

パーソナルPCシステムは、パチンコホールが抱える慢性的な人手不足や人件費の高騰等の問題を解決するシステムとして広く認知され、業界のスタンダードとなりました。更に進化した新式パーソナルPCシステム「マースユニコン」を販売し、新店や大型店、他社ユーザーから導入実績をあげることができました。当第1四半期連結累計期間におけるパーソナルの売上実績は18店舗、当第1四半期連結累計期間末時点における導入（実稼働）店舗数は累計1,628店舗（市場シェア19.4%）となりました。また、パーソナルを含めたプリペイドカードシステムの売上実績は18店舗、導入（実稼働）店舗数は累計1,931店舗（市場シェア23.0%）となりました。

空気の流れで紙幣を搬送する業界随一のAir紙幣搬送システムは、順調に導入実績をあげ、累計800店舗を越えました。特にハイスペックモデルの立体Air紙幣搬送システムは、ホール業務の改善効果が高く、競合他社との差別化につながりました。

この結果、アミューズメント関連事業の売上高は、42億63百万円（前年同四半期比26.9%増）、セグメント利益は9億96百万円（同57.7%増）となりました。

[自動認識システム関連事業]

自動認識システム関連事業における市場は、AIやIoTをキーワードとし、スマートフォン向け小型電子部品や電気自動車向けリチウム電池の需要が世界的に高まっており、また、国内においては製造業や物流業を中心に自動化・省力化のニーズが高まっていることから回復基調で推移しました。

自動認識システムは、RFID、バーコード、X線検査装置等を媒体として各種データを精査しながら自動的に取り込み・認識ができるため、様々なビジネスシーンでの活用が期待されております。当社グループではFA市場、流通市場、アミューズメント市場、健診市場等、広く新規市場への展開を目指して提案販売活動を行ってまいりました。また、FA市場向け検査装置として、世界トップクラスの高分解能（性能）を誇るX線源を搭載した産業用X線検査装置の販売を競合他社との差別を図りつつ強化してまいりました。

この結果、自動認識システム関連事業の売上高は、13億63百万円（前年同四半期比12.6%減）、セグメント利益は98百万円（同4.6%増）となりました。

[ホテル関連事業]

ホテル業界におきましては、平成29年の訪日外国人の人数が2,869万人（推計値）と5年連続で最高を更新しており、観光需要は好調に推移しました。

博多地区でトップクラスの稼働率を誇るホテルサンルート博多は、前年の全館リニューアル以降も90%を超える稼働率を維持し、客単価向上につながりました。静岡県御殿場市のマースガーデンウッド御殿場は、水と光のファンタジー（幻想的な噴水ショー）や宿泊者向けのイベントを定期的開催し、新規顧客とリピーターの獲得により稼働率の向上に努めました。関連事業の「海鮮処博多松月亭（ホテルサンルート博多内）」及び「鉄板焼銀明翠GINZA（東京銀座）」は、インバウンドの影響や認知度が高まるに連れて利用客が増加しました。また、インターネットによる関連商品の販売は好調に推移しました。

この結果、ホテル関連事業の売上高は4億62百万円（前年同四半期比27.6%増）、セグメント損失は24百万円（前年同四半期は3億48百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は610億28百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億84百万円増加いたしました。

流動資産は384億48百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億42百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、現金及び預金が12億30百万円増加し251億64百万円となりました。

固定資産は225億79百万円となり、前連結会計年度末と比較して41百万円増加いたしました。

流動負債は49億95百万円となり、前連結会計年度末と比較して39百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、未払法人税等が6億69百万円減少し1億53百万円となりました。

固定負債は42億50百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億96百万円増加いたしました。その増加の主な内訳は、役員退職慰労引当金が9億80百万円増加し17億27百万円となりました。

純資産は517億81百万円となり、前連結会計年度末と比較して4億72百万円減少いたしました。その減少の主な内訳は、利益剰余金が3億86百万円減少し478億99百万円となりました。

自己資本比率は84.8%となり、前連結会計年度末と比較して1.4ポイント減少いたしました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は251億64百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億30百万円増加いたしました。

当第1四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は18億67百万円の収入(前年同四半期は10億6百万円の支出)となりました。主な要因は、引当金の増加額7億64百万円、売上債権の減少額5億10百万円等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は79百万円の支出(前年同四半期は1億34百万円の支出)となりました。主な要因は、敷金及び保証金の差入による支出62百万円等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は5億60百万円の支出(前年同四半期は5億49百万円の支出)となりました。主な要因は、配当金の支払額5億60百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,933,711	25,164,263
受取手形及び売掛金	4,768,848	4,258,730
リース債権及びリース投資資産	1,122,619	985,144
有価証券	349,930	349,895
商品及び製品	2,043,734	1,736,031
仕掛品	261,220	300,985
原材料及び貯蔵品	1,119,945	1,218,928
その他	4,506,214	4,435,144
貸倒引当金	△460	△405
流動資産合計	38,105,764	38,448,717
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,700,127	6,617,473
土地	6,057,217	6,057,217
その他(純額)	504,164	479,543
有形固定資産合計	13,261,509	13,154,234
無形固定資産	121,997	117,148
投資その他の資産		
投資有価証券	7,027,492	6,972,467
その他	2,249,500	2,458,792
貸倒引当金	△122,098	△123,173
投資その他の資産合計	9,154,894	9,308,086
固定資産合計	22,538,402	22,579,468
資産合計	60,644,166	61,028,186
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,046,125	2,293,811
リース債務	715,228	653,895
未払法人税等	823,118	153,362
賞与引当金	442,079	224,933
その他	1,008,848	1,669,436
流動負債合計	5,035,399	4,995,439
固定負債		
リース債務	904,395	822,376
役員退職慰労引当金	746,155	1,727,015
退職給付に係る負債	542,642	548,421
資産除去債務	29,787	39,804
その他	1,131,618	1,113,270
固定負債合計	3,354,599	4,250,887
負債合計	8,389,999	9,246,327

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,934,100	7,934,100
資本剰余金	8,371,830	8,371,830
利益剰余金	48,285,549	47,899,286
自己株式	△12,315,252	△12,315,252
株主資本合計	52,276,226	51,889,963
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	228,472	135,083
退職給付に係る調整累計額	△250,532	△243,188
その他の包括利益累計額合計	△22,059	△108,105
純資産合計	52,254,167	51,781,858
負債純資産合計	60,644,166	61,028,186

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	5,283,498	6,089,156
売上原価	2,813,672	2,985,675
売上総利益	2,469,825	3,103,481
販売費及び一般管理費	2,090,228	2,030,753
営業利益	379,597	1,072,728
営業外収益		
受取配当金	136,942	184,424
その他	11,713	15,273
営業外収益合計	148,656	199,697
経常利益	528,254	1,272,426
特別損失		
役員退職慰労金	—	973,300
特別損失合計	—	973,300
税金等調整前四半期純利益	528,254	299,126
法人税、住民税及び事業税	82,790	280,886
法人税等調整額	125,250	△179,998
法人税等合計	208,040	100,888
四半期純利益	320,213	198,238
親会社株主に帰属する四半期純利益	320,213	198,238

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	320,213	198,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,638	△93,389
繰延ヘッジ損益	4,716	—
退職給付に係る調整額	8,671	7,344
その他の包括利益合計	△12,251	△86,045
四半期包括利益	307,962	112,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307,962	112,192

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	528,254	299,126
減価償却費	146,543	137,058
引当金の増減額(△は減少)	△265,993	764,733
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,190	5,778
受取利息及び受取配当金	△137,452	△184,427
売上債権の増減額(△は増加)	1,277,179	510,118
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	35,324	137,769
たな卸資産の増減額(△は増加)	△441,310	168,955
営業貸付金の増減額(△は増加)	△1,304,478	234,176
仕入債務の増減額(△は減少)	△257,143	247,686
リース債務の増減額(△は減少)	△44,351	△143,351
その他	619,184	582,558
小計	160,947	2,760,183
利息及び配当金の受取額	137,452	184,427
法人税等の支払額	△1,304,508	△1,077,255
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,006,108	1,867,354
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△131,328	△3,567
投資有価証券の取得による支出	△7,099	△7,348
敷金及び保証金の差入による支出	△43,180	△62,466
その他	47,330	△6,193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134,278	△79,576
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△108	—
配当金の支払額	△549,056	△560,446
財務活動によるキャッシュ・フロー	△549,164	△560,446
現金及び現金同等物に係る換算差額	224	3,219
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,689,326	1,230,551
現金及び現金同等物の期首残高	25,444,664	23,933,711
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,755,337	25,164,263

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	3,360,596	1,560,351	362,551	5,283,498	—	5,283,498
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	134,376	35,668	3,155	173,199	△173,199	—
計	3,494,972	1,596,019	365,706	5,456,698	△173,199	5,283,498
セグメント 利益又は損失 (△)	631,981	94,125	△348,347	377,760	1,837	379,597

(注) 1. セグメント利益の調整額1,837千円には、セグメント間取引消去1,837千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アミューズ メント 関連事業	自動認識 システム 関連事業	ホテル 関連事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	4,263,269	1,363,101	462,786	6,089,156	—	6,089,156
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	140,012	59,351	2,755	202,119	△202,119	—
計	4,403,282	1,422,452	465,542	6,291,276	△202,119	6,089,156
セグメント 利益又は損失 (△)	996,889	98,497	△24,439	1,070,947	1,781	1,072,728

(注) 1. セグメント利益の調整額1,781千円には、セグメント間取引消去1,781千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。